



日本共産党 北区議会議員

のの山けん区政レポート

https://ken-nonoyama.com/ mail@ken-nonoyama.com

No.736 2024.11.27

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

赤羽駅周辺地区まちづくりは

住民合意・市民参加で



本会議で質問する、のの山けん区議

27日、北区議会第4回定例会本会議で、赤羽まちづくりを住民合意・市民参加で進めることを求め、個人質問を行いました。

将来像と整備方針の議論は一体に

赤羽駅周辺地区まちづくり基本計画策定検討会はこれまで、修復型のまちづくりかタワマン誘致の再開発か、赤羽小や赤羽公園をどうするかなど、具体的な

区議会定例会 のの山けん議員が個人質問

整備方針をめぐって議論を進めてきました。ところが10月の第7回検討会で事務局である北区が突然、基本計画の目標をまちづくりの「大きな姿を示すもの」に変更、赤小の改築や赤羽公園の存続などは次年度以降、別会議体で検討し、区が中心となって決めると提案しました。私は、整備方針を区に一任するような一方的な目的変更は改め、将来像と整備方針は一体に議論すべきと求めました。

住民・子どもの声を計画に反映させよ

さらに、基本計画策定に地域住民や子どもの声を反映させるために、休止状態のまちづくり協議会に活動再開を促すことなどを求めました。(のの山けん)

日本共産党北区議員団が

新年度予算要望

22日、日本共産党北区議員団は、それはじめ都議、せいの恵子前区議とともに、188項目にわたる2025年度予算要望書を山田区長に提出。「暮らし・営業を支える予算に」と要請しました。(のの山けん)



山田区長(中央)に要望書を手渡す日本共産党北区議員団

暴走し始めた北区 拠点 まちづくり部



第4回定例会の個人質問では、赤羽駅東口にタワーマンションを誘致する市街地再開発計画の推進に、しやにむに舵を切ろうとする北区・拠点まちづくり部の「暴走」ともいえる動きが明らかになりました。

11月の第8回基本計画策定検討会で、事務局である区は、市街地再開発区域と赤羽小敷地、東口駅前広場を「重点区域」とし、これら

事業区域の「大きくくり化」を念頭にまちづくりを進めることを提案。これに対し、検討会会長は「大きくくり化とは再開発のシナリオ5を指すもの。これまで検討会で議論をしていないものを計画案に書き込んでよいものか」と検討委員に投げかけました。

「二学者の意見」と 検討会会長発言を

検討会での議論をふまえ、私は個人質問で、防災、タワマン誘致、赤羽小や商店街の存続など、検討会で議論していないことが残されているのに、「大きくくり化」で再開発を方向づけるのは区の勇み足だと批判しました。

ところが拠点まちづくり部長は「大きくくり化の提案を取り下げることは考えていない」と答弁し、「会長の発言は、会長としてではなく一学者としての意見と考えている」などと述べて、再開発推進に固執する姿勢を示しました。

検討会では検討委員による公正で民主的な議論を尽くすことこそ必要です。(のの山けん)

赤羽駅周辺地区まちづくり基本計画策定検討会
これまでの議論のまとめの報告

- とき 12月15日(日)・16日(月)
15:00~21:00(パネル展示と説明)
- ところ 赤羽会館4階小ホール
※オープンハウス形式の説明会です。



訴える田村智子委員長(左)と、せいの恵子前区議

日本共産党 田村委員長が対話街宣

24日、赤羽駅東口で日本共産党の田村智子委員長を迎えての対話街宣。せいの恵子前区議のあいさつの後、田村委員長が「税金は大企業や富裕層などお金のあるところから取るべき」、「紙の保険証をなくさないで」、「お米が高くて大変」など聴衆からの質問に丁寧に回答。「新しい国会でともに政治を変えましょう」と訴えました。(のの山けん)